

平成 30 年 10 月 1 日
沖 縄 気 象 台

平成 30 年 9 月 28 日に沖縄県名護市字済井出および名護市字久志で
発生した突風について
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

9 月 28 日、17 時 30 分頃沖縄県名護市字済井出（スムイデ）で発生した突風については、「竜巻」と認められます。その強さは風速約 50m/s（3 秒平均）と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当します。

また、同日、16 時 50 分頃名護市字久志（クシ）付近で発生した突風の種類は特定にいたりませんでした。その強さは風速約 40m/s（3 秒平均）と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当します。

9 月 28 日、沖縄県名護市字済井出付近及び名護市字久志付近で突風が発生し、車の横転や樹木の幹折れなどの被害がありました。

このため 10 月 1 日、沖縄気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

（1）名護市字済井出付近

①. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と認められる。

（根拠）

- ・ 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・ 突風発生時に移動する渦を撮影した画像が得られた。

②. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 50m/s（3 秒平均）と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当します。

（根拠）

- ・ 樹木の幹折れ。
- ・ 車の横転。

(2) 名護市字久志付近

①. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定には至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害や痕跡、聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

②. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 40m/s (3 秒平均) と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当します。

(根拠)

- ・樹木の幹折れ。
- ・車の横転。

※この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：沖縄気象台防災調査課 担当 山口・根間 電話 098-833-2186 FAX 098-833-4292
